

平成19年度

就学義務猶予免除者等の  
中学校卒業程度認定試験  
(中卒認定)  
受験案内

出願期間：平成19年 8月24日(金)～ 9月11日(火)  
9月11日(火)の消印有効

試験日：平成19年11月 5日(月)

合格発表：平成19年12月14日(金)発送予定  
(お手元に届くまでには数日かかる場合があります。)

【問い合わせ先】

文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課  
認定試験第二係  
〒100-8959 東京都千代田区丸の内2-5-1  
電話：03(5253)4111 内線2024・2643

文 部 科 学 省

《要保存》

この冊子には、中学校卒業程度認定試験の受験方法と  
その後の証明書交付の手続き等、必要なことが記載してあります。  
認定試験後も大切に保存してください。

## 1 中学校卒業程度認定試験（中卒認定）とは

中学校卒業程度認定試験とは、学校教育法第二十三条の規定により、病気などやむを得ない事由によって保護者が義務教育諸学校に就学させる義務を猶予又は免除された子女等に対して、中学校卒業程度の学力があるかどうかを認定するために国が行う試験であり、合格した者には高等学校の入学資格が与えられます。

## 2 受験資格

次の(1)から(4)までのいずれかに該当する者が受験できます。

- (1) 就学義務猶予免除者である者又は就学義務猶予免除者であった者で、平成20年3月31日までに満15歳以上になるもの
- (2) 保護者が就学させる義務の猶予又は免除を受けず、かつ、平成20年3月31日までに満15歳に達する者で、その年度の終わりまでに中学校を卒業できないと見込まれることについてやむを得ない事由があると文部科学大臣が認めたもの
- (3) 平成20年3月31日までに満16歳以上になる者（(1)及び(4)に掲げる者を除く。）
- (4) 日本の国籍を有しない者で、平成20年3月31日までに満15歳以上になるもの

## 3 試験科目と程度

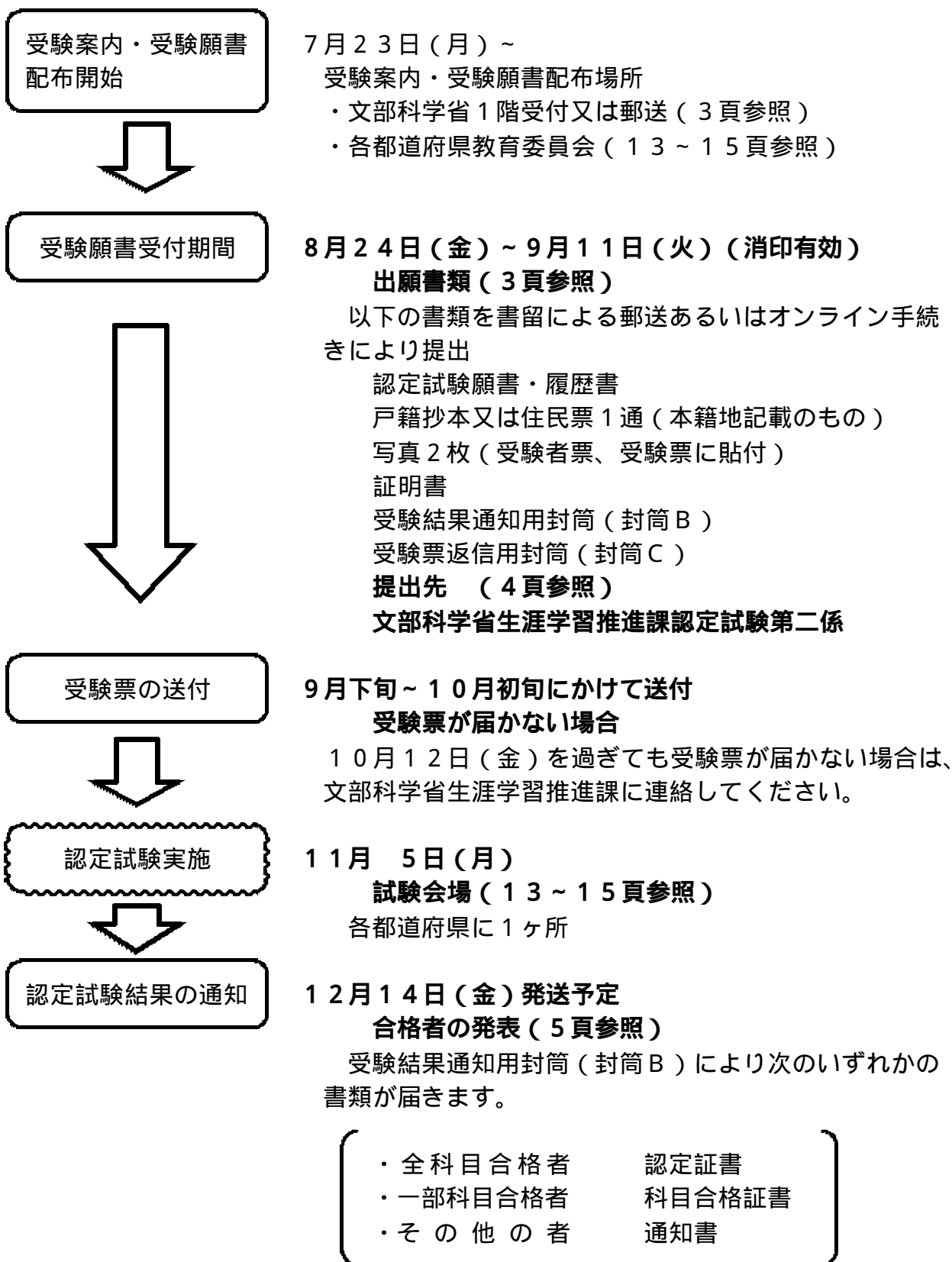
試験科目は、中学校の国語・社会・数学・理科・外国語（英語）の5教科です。また、試験の程度は各教科について、これらを履修した場合と同程度ですので、教科書などを参考に準備してください。

## 4 試験の期日と時間割

平成19年11月 5日（月）

時間	10:00 ~ 10:40	11:00 ~ 11:40	11:40 ~ 13:00	13:00 ~ 13:40	14:00 ~ 14:40	15:00 ~ 15:40
期日						
11月5日(月)	国語	社会	昼食 ・ 休憩	数学	理科	外国語 (英語)

## 5 試験の日程



## 6 受験の手続き

### (1) 出願書類

<p>認定試験願書 ・履歴書</p>	<p>用紙は、文部科学省又は都道府県教育委員会等に用意されているものを用いてください。〔郵便による場合は、返信用封筒（角型2号の封筒に200円切手を貼ったもの）を添えて文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課宛てに請求してください。〕</p>
<p>戸籍抄本又は 住民票等（本籍が 明記してあるも の）1通</p>	<p>出願前6か月以内に交付を受けたものを用いてください。（日本の国籍を有しない者については、外国人登録法の規定による登録原票又は登録原票記載事項証明書） 住民票は本籍が明記してあるもの。</p>
<p>写真2枚 （ ・受験者票 ・受験票 ）</p>	<p>出願前6か月以内に撮影した無帽・正面上半身のもの。 （たて5cm、よこ5cm） 願書の「受験者票」と「受験票」の写真貼付欄に貼り付けてください。</p>
<p>証明書（ ）</p>	<p>受験資格(1)に該当する場合 〔就学義務猶予免除者である者又は就学義務猶予免除者であった者で、平成20年3月31日までに満15歳以上になるもの〕 ・就学義務の猶予・免除を受けた旨の証明書（16頁の様式1） 受験資格(2)に該当する場合 〔保護者が就学させる義務の猶予又は免除を受けず、かつ平成20年3月31日までに満15歳に達する者で、その年度の終わりまでに中学校を卒業できないと見込まれることについてやむを得ない事由があると文部科学大臣が認めたもの〕 ・中学校を卒業できないと見込まれることについてやむを得ない事由がある旨の証明書（17頁の様式2）</p>
<p>受験結果通知 用封筒(封筒B)</p>	<p>出願者の郵便番号、住所、氏名及び受験地を明記し、 330円分の切手を貼付すること。</p>
<p>受験票返信用 封筒(封筒C)</p>	<p>出願者の郵便番号、住所、氏名及び受験地を明記し、 80円分の切手を貼付すること。</p>



<p>出願用封筒 (封筒A)</p>	<p>・上記 ~ を同封するとともに、表面（受験地、住所及び氏名）を明記し、裏面をチェックすること。</p>
------------------------	--

→ 「証明書」は、出願者の就学事務を行った市区町村の教育委員会が作成しますので早めに依頼してください。

(2) 願書提出先

【出願書類を書面により提出する場合】

出願用封筒(封筒A)に出願書類 ~ を同封し、文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課認定試験第二係宛に書留で郵送してください。

【出願書類をオンライン手続により提出する場合】

出願書類のうち については、文部科学省のホームページに掲載されている所定の画面に必要事項を入力の上、オンライン手続により提出してください。( <https://shinsei-cert.mext.go.jp/> )

オンライン手続きでは、 は送れませんので 以外の出願書類については、書面により文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課認定試験第二係宛に別途郵送してください。ただし、 写真については、オンライン手続による提出又は別途郵送(裏面に住所・氏名を記入)のどちらでも可能です。

(3) 願書受付期間

【出願書類を書面により提出する場合】

8月24日(金)から9月11日(火)(消印有効)までに提出してください。

【出願書類をオンライン手続により提出する場合】

8月24日(金)から9月11日(火)までに手続きを行ってください。ただし、オンライン手続により提出した出願書類を除く必要書類を別途郵送する場合には、9月11日(火)(消印有効)までに提出してください。

(4) 受験料 無 料

(5) 受験票

出願した方には、文部科学省より受験票を交付します。受験票は、受験の際に必ず持参してください。

なお、10月12日(金)を過ぎても受験票が届かない場合は、文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課認定試験第二係に連絡してください。

## 7 試験場

試験は、各都道府県ごとに設ける試験場で行われます。13~15頁を参照してください。

受験当日は、受験票、筆記用具、昼食及び必要な医薬品等を携帯してください。

試験会場によっては上履きが必要になります。受験票と一緒に送付する注意事項で必ず確認してください。

## 8 合格発表

合格者の発表は、12月14日（金）（予定）に直接本人宛に郵送（封筒B）します。

なお、受験後に現住所を変更した場合には、すみやかに文部科学省に新住所を届け出てください。

全科目に合格した者	認定証書
一部の試験科目に合格した者	科目合格証書
その他の者	通知書

## 9 認定試験願書等の記入方法

6頁～10頁の記入方法を参照し、誤りのないように記入してください。

### (1) 記入上の注意事項

黒又は青のボールペン又は万年筆で丁寧に記入してください。

誤って記入した場合は、その部分を二重線で消し、訂正してください。訂正印は不要です。

### (2) 受験科目について

受験者は、1回の試験において必ずしも全部の試験科目を受験する必要はありません。また、一部の試験科目に合格した者は、翌年以後の試験では、その科目の受験が免除されます。

### (3) 特別措置について

保護者等の付き添いや、点字による受験等の特別措置が必要な場合には、履歴書の「障害の程度」欄にその旨を記入するか、又は願書提出時に申し出てください。

点字受験者は、できるだけ早めに申し込みをしてください。

やむを得ない理由で、出願後に受験地等の変更をする場合には、文部科学省に9月28日（金）（消印有効）までに願い出をしてください。

### 認定試験についての問い合わせ先

文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課  
認定試験第二係  
〒100-8959 東京都千代田区丸の内2-5-1  
代表電話 03(5253)4111 内線 2024・2643  
受験地の都道府県教育委員会（13～15頁参照）

生年月日  
生年月日及び年齢を記入すること。(年号(昭和・平成等)も記入すること。)

氏名  
住民票に記載されている氏名どおりに記入すること。また、外国籍の方は登録原票記載事項証明書に記載されている氏名どおりに記入すること。

本籍/国籍  
住民票に記載されている本籍を記入すること。また、外国籍の方は、登録原票記載事項証明書に記載されている国籍を記入すること。

認 定 試 験 願 書

文部科学大臣 殿

ふりがな 氏 名	もんか たろう <b>文科 太郎</b>	性 別	男・女
生年月日	平成 2年 1月 1日 (16歳)		
本 籍	東京 都・道・府・県		
現住所	東京都千代田区 1-2-3		

(備考)本籍については、日本の国籍を有しない者にとっては、その国籍を記入すること。

下記により就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定規則による認定を受けたいので必要な書類を添えてお願いします。

1 受験科目

<input checked="" type="radio"/> 国語	<input checked="" type="radio"/> 社会	<input checked="" type="radio"/> 数学	<input checked="" type="radio"/> 理科	<input type="radio"/> 外国語 (英語)
-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	-----------------------------------

(備考)  
受験希望の科目を○で囲むこと。

2 試験免除科目

科 目	科目合格年度	科目合格証書番号	受 験 地 (都道府県名)
外国語(英語)	平成 18 年度	10	東京都

(備考)  
前回までの認定試験における合格科目について、それぞれの欄に記入すること。

3 受験地

東京  都・道・府・県

現住所  
必ずしも住民票に記載されている住所を記入する必要はない。確実に連絡の取れる住所を記入すること。

受験科目  
受験希望の科目名をすべてで囲むこと。

試験免除科目  
前年度までに合格した科目のある者については、それぞれ合格科目・科目合格年度・科目合格証書番号及び受験地を記入すること。

受験地  
13頁～15頁を参照し、希望する受験地の都道府県名を記入すること。必ずしも住所のある都道府県で受験する必要はありません。

履 歴 書

猶予、 免除、 就学の 状況	期 間	猶予、免除の状況		就学した場合在籍  学校名及び在籍学年
		猶予、免除の 区分	猶予、免除の 事由	
	平成17年 4月 1日 ~ 19年 3月 31日	猶予	病弱	千代田区立 中学校 2 ~ 3年
	年 月 日 ~ 年 月 日			
	年 月 日 ~ 年 月 日			
	年 月 日 ~ 年 月 日			
障害の程度				

履 歴 書 の 記 入 方 法

本受験案内の「2受験資格」により、記述する内容が異なるので、以下の留意事項を十分に確認の上、記入すること。

受験資格(1)の受験者

- ・就学義務の猶予又は免除を受けた期間ごとに、猶予又は免除の別及びその事由を記入すること。
- ・就学した期間ごとに、在籍した学校名及び学年を記入すること。

受験資格(2)の受験者

- ・中学校を欠席した期間を「期間」の欄に記入し、中学校を卒業できないと見込まれることについてのやむを得ない事由を「猶予、免除の事由」の欄に記入するとともに、「就学した場合在籍学校名及び在籍学年」の欄に学校名及び学年を記入すること。
- ・インターナショナルスクール等の教育施設に在籍する受験希望者については、当該教育施設に在籍した期間を「期間」の欄に記入し、中学校を卒業できないと見込まれることについてのやむを得ない事由を「猶予、免除の事由」の欄に記入するとともに、「就学した場合在籍学校名及び在籍学年」の欄に当該教育施設名及び学年を記入すること。

受験資格(3)及び(4)受験者

- ・学校に出席した期間を「期間」の欄に記入するとともに、「就学した場合在籍学校名及び在籍学年」の欄に学校名及び学年を記入すること。

障害の程度

該当する場合に、猶予又は免除を受けた、あるいは欠席していた当時及び現在の状況を記入すること。

試験時に保護者等の付き添いや、点字による受験等の特別措置が必要な場合には、その旨を記入すること。



受験地  
受験願書に記入した同じ  
受験地を記入すること。

平成19年度中学校卒業程度認定試験  
受験票

番号  
記入しないこと。

氏名  
受験願書と同じ氏名を  
記入すること。

写真貼付  
・写真の裏に必ず氏名  
及び受験地を記入し  
て貼付すること。  
・写真については以下  
の点に注意すること  
出願前6か月以内に  
撮影した無帽・正面  
上半身のもの  
サイズは5cm×5cm  
2枚とも同じ写真  
カラーコピー・プリ  
クラ及び自宅で印刷  
した不鮮明な写真は  
不可

平成19年度中学校卒業程度認定試験受験者票

本籍・国籍  
・受験願書に記入し  
た本籍地を記入す  
ること。  
・外国籍の方は、国  
籍を記入すること

連絡のとれる住所  
受験願書に記入した  
住所を記入すること。

電話・E-mail  
確実に連絡の取れる  
電話番号を市外局番か  
ら記入すること(携帯  
電話でも可)。  
E-mailでの連絡を希  
望する者は、メールア  
ドレスを記入するこ  
と。

受験地	東京都		番	
本籍	東京都	道	性	
籍	東京府	県	別	男 女
氏名(ふりがな)	(もんか たろう)			
	文科 太郎			
	昭和	2年	1月	1日生
	平成			
	1	2	3	4 5 6 7 (連絡のとれる住所)
	東京都千代田区 1-2-3			
電話	03	-		
E-mail				
	(写真貼付のこと) (5cm×5cm)			

受験地	東京都	番号	
氏名	文科 太郎		
	昭和	2年	1月 1日生
	平成		
	(写真貼付のこと) (5cm×5cm)		
			文部科学省割印

試験の時間割

	時 間	試験科目
午 前	1 10:00 ~ 10:40	国 語
	2 11:00 ~ 11:40	社 会
	11:40 ~ 13:00	昼食・休憩
午 後	3 13:00 ~ 13:40	数 学
	4 14:00 ~ 14:40	理 科
	5 15:00 ~ 15:40	外国語(英語)

[ 試験監督者用 ]

取  
録  
冊  
の  
記  
入  
方  
法

切手  
 ・切手は貼らずに郵便局の窓口で書留郵便物の受領が切手にお  
 ・切手は貼らずに郵便局の窓口で書留郵便物の受領が切手にお  
 ・切手は貼らずに郵便局の窓口で書留郵便物の受領が切手にお

1 0 0 - 8 9 5 9

東京都千代田区丸の内2・5・1

文部科学省 生涯学習推進課  
認定試験 第二係 御中

書留  
出願書類在中

封筒A

印欄には記入しないこと。

郵便局書留引受番号	受付番号	受験地	都・道 東京府・県
住所 〒123-4567	東京都千代田区	1 - 2 - 3	
氏名	文科 太郎	特別措置 受験の有無	有

出願期間 平成19年8月24日(金)～9月11日(火) 9月11日(火)消印有効  
裏面も記入すること

封筒A (表面)

受験地・住所・氏名  
 ・受験地を漢字で記入すること。  
 ・受験願書等に記入した住所を記入すること。  
 ・出願者本人の氏名を記入すること。

特別措置受験の有無  
 5頁の(3)を参照し、  
 希望する人は必ず を  
 付けること。

送付時の注意

ポストに投函せず、郵便局の窓口で書留扱いにして送付してください。  
 「書留郵便物受領書」は大切に保管してください。

出願書類確認欄

以下の出願書類に不備がないように、欄にチェック(レ)を入れて封入してください。書類に不備があった場合、受付できないことがありますのでご注意ください。

- 受験願書・履歴書・受験者票・受験票
- 住民票又は戸籍抄本(コピーは不可)  
外国籍の方は登録原票又は登録原票記載事項証明書(コピーは不可)
- 写真2枚(5cm×5cm・同じもの)
- ア 受験者票にのりづけ
- イ 受験票にのりづけ
- 封筒B(受験結果通知用の封筒)  
切手の貼り付け(330円)
- 封筒C(受験票送付用の封筒)  
切手の貼り付け(80円)
- 証明書  
受験資格(1)及び(2)に係る市町村教育委員会等の作成した証明書

封筒A (裏面)

出願書類確認  
 ・出願書類確認欄で最終的な確認をしながら、封筒A(出願用封筒)に封入する。  
 ・封入した出願書類には、必ず 欄にレ点をつけること。

封筒A・B・Cの記入方法

切手  
切手を貼る。  
(330円分)

1 2 3 - 4 5 6 7

330  
円切手  
を貼付

封筒 B

配達記録

受験結果在中

氏名  
文科 太郎  
様

住所  
東京都千代田区  
1ノ2ノ3

受験地
東京都
受験番号

印欄には記入しないこと。

封筒 B

受験地  
受験地を漢字で記入すること。

切手  
切手を貼る。  
(80円分)

1 2 3 - 4 5 6 7

80円  
切手を  
貼付

封筒 C

受験票在中

氏名  
文科 太郎  
様

住所  
東京都千代田区  
1ノ2ノ3

受験地
東京都
受験番号

印欄には記入しないこと。

封筒 C

宛先・氏名  
結果通知（封筒 B）及び受験票（封筒 C）が確実に受  
験者本人に届く住所を記入すること。

## 10 合格後の証明書等の交付申請手続

中学校卒業程度認定試験合格者（全科目合格者）は、文部科学省に交付申請書（書式は12頁）を提出することにより、認定証明書及び調査書の交付を受けることができます。

### 認定証明書または調査書が必要な場合

（高等学校を受験するため、資格試験を受験するため、就職に使用するため等）

提出するもの

交付申請書

返信用封筒（角形2号（24cm×33cm）の封筒に郵便番号、住所、氏名（様も書くこと）を記入し、返信用切手を貼ったもの）

返信切手は 認定証明書・調査書が、計 2通まで・・・120円分の切手  
計 7通まで・・・140円分の切手  
計 12通まで・・・200円分の切手  
計 20通まで・・・240円分の切手

### 認定証明書及び調査書の申請にかかる注意事項

交付申請書の注意事項に従って手続きをしてください。

証明書等の交付には、受付から発送まで1週間程度の期間がかかります。高校入試等で必要な場合は提出期限を確認し、余裕を持って申請してください。

申請書類に不備がある場合は証明書等の発行ができませんので注意してください。連絡がとれない場合は申請書類を返却することになります。

〔 = 請求先 =  
文部科学省生涯学習推進課認定試験受付  
〒100-8959 東京都千代田区丸の内2-5-1  
03-5253-4111（内線2590, 2591） 〕



## 11 試験場と教育委員会担当課

受験地	試験場	所在地	都道府県教育委員会担当課及び所在地	
北海道	北海道庁別館西棟 5階会議室9	札幌市中央区北3条西 7丁目	生涯学習課	〒060-8544 札幌市中央区北3条西7丁目 011-204-5743(直)
青森	青森県教育庁	青森市新町2丁目3番1号	義務教育課	〒030-8540 青森市新町2丁目3番1号 017-734-9894(直)
岩手	岩手県立総合教育センター	花巻市北湯口第2地割 82番1	学校教育室	〒020-8570 盛岡市内丸10番1号 019-629-6138(直)
宮城	宮城県庁本町 第二分庁舎	仙台市青葉区本町3丁目 7番2号	義務教育課	〒980-8423 仙台市青葉区本町3丁目8番1号 022-211-3642(直)
秋田	秋田県庁第二庁舎	秋田市山王3丁目1番1号	高校教育課	〒010-8580 秋田市山王3丁目1番1号 018-860-5161(直)
山形	山形県庁	山形市松波2丁目8番1号	義務教育課	〒990-8570 山形市松波2丁目8番1号 023-630-2871(直)
福島	福島県自治会館	福島市中町8番2号	生涯学習領域 社会教育グループ	〒960-8688 福島市杉妻町2番16号 024-521-7794(直)
茨城	茨城県教育庁会議室	水戸市笠原町978番6	義務教育課	〒310-8588 水戸市笠原町978番6 029-301-5220(直)
栃木	栃木県自治研修所	宇都宮市塙田1丁目1番 20号	教職員課	〒320-8501 宇都宮市塙田1丁目1番20号 028-623-3391(直)
群馬	群馬県庁	前橋市大手町1丁目1番 1号	義務教育課	〒371-8570 前橋市大手町1丁目1番1号 027-226-4615(直)
埼玉	埼玉県県民健康センター	さいたま市浦和区仲町 3丁目5番1号	小中学校 人事課	〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3丁目 15番1号 048-830-6939(直)
千葉	千葉県教育庁	千葉市中央区市場町1番 1号	指導課	〒260-8662 千葉市中央区市場町1番1号 043-223-4056(直)
東京	東京都就学相談室	新宿区赤城元町1番3号	義務教育特別 支援教育課	〒163-8001 新宿区西新宿2丁目8番1号 03-5320-6752(直)
神奈川	かながわ県民センター	横浜市神奈川区鶴屋町 2丁目24番2	子ども教育支援課	〒231-8509 横浜市中区日本大通33 045-210-1111(代)
新潟	新潟県庁	新潟市中央区新光町 4番地1	高等学校教育課	〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1 025-285-5511(代)
富山	富山県庁	富山市新総曲輪1番7号	県立学校課	〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号 076-444-3448(直)

受験地	試験場	所在地	都道府県教育委員会担当課及び所在地	
石川	石川県立生涯学習センター	金沢市広坂2丁目1番1号	学校指導課	〒920-8575 金沢市鞍月1丁目1番地 076-225-1831(直)
福井	福井県庁	福井市大手3丁目17番1号	高校教育課	〒910-8580 福井市大手3丁目17番1号 0776-20-0568(代)
山梨	山梨県教育庁	甲府市丸の内1丁目6番1号	義務教育課	〒400-8504 甲府市丸の内1丁目6番1号 055-237-1111(代)
長野	長野県庁	長野市大字南長野字幅下692-2	義務教育課	〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2 026-232-0111(代)
岐阜	岐阜県総合教育センター	岐阜市藪田南5丁目9番1号	学校支援課	〒500-8570 岐阜市藪田南2丁目1番1号 058-272-1111(代)
静岡	静岡県教育会館	静岡市葵区駿府町1番12号	特別支援教育課	〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 054-221-2942(直)
愛知	愛知県総合教育センター	愛知郡東郷町大字諸輪字上鉾68番地	義務教育課	〒460-8534 名古屋市中区三の丸3丁目1番2号 052-954-6790(直)
三重	三重県庁講堂棟	津市広明町13番地	高校教育室 進路指導・ 入試グループ	〒514-8570 津市広明町13番地 059-224-2913(直)
滋賀	滋賀県大津合同庁舎	大津市松本1丁目2番1号	学校教育課	〒520-8577 大津市京町4丁目1番1号 077-528-4576(直)
京都	京都府教育庁別室	京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町	学校教育課	〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町 075-414-5838(直)
大阪	大阪府職員会館	大阪市中央区大手前3丁目1番43号	小中学校課	〒540-8571 大阪市中央区大手前2丁目 06-6941-0351(代)
兵庫	兵庫県職員会館	神戸市中央区下山手通4丁目18番2号	義務教育課	〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号 078-341-7711(代)
奈良	奈良県庁	奈良市登大路町30番地	学校教育課	〒630-8502 奈良市登大路町30番地 0742-22-1101(代)
和歌山	和歌山県立情報交流センター ビッグ・ユー	田辺市新庄町3353-9	小中学校課	〒640-8585 和歌山市小松原通1丁目1番 073-432-4111(代)
鳥取	鳥取県庁議会棟	鳥取市東町1丁目271番地	特別支援教育室	〒680-8570 鳥取市東町1丁目271番地 0857-26-7598(直)
島根	島根県庁会議棟	松江市殿町1番地	義務教育課	〒690-8501 松江市殿町1番地 0852-22-5419(直)
岡山	西村ビル	岡山市内山下2丁目1番12号	学校教育振興課	〒700-8570 岡山市内山下2丁目4番6号 086-226-7578(直)

受験地	試験場	所在地	都道府県教育委員会担当課及び所在地	
広島	広島県庁	広島市中区基町10番52号	生涯学習課	〒730-8514 広島市中区基町9番42号 082-513-5012(直)
山口	山口県庁	山口市滝町1番1号	義務教育課	〒753-8501 山口市滝町1番1号 083-933-4595(直)
徳島	徳島県庁	徳島市万代町1丁目 1番地	学校政策課	〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地 088-621-3134(直)
香川	香川県庁天神前分庁舎	高松市天神前6番1号	義務教育課	〒760-8582 高松市天神前6番1号 087-832-3742(直)
愛媛	愛媛県庁	松山市一番町4丁目 4番地2	義務教育課	〒790-8570 松山市一番町4丁目4番地2 089-912-2941(直)
高知	高知県教育センター分館	高知市大原町132番地	小中学校課	〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目7番52号 088-821-4638(直)
福岡	福岡県庁	福岡市博多区東公園7番 7号	義務教育課	〒812-8575 福岡市博多区東公園7番7号 092-651-1111(代)
佐賀	佐賀県庁	佐賀市城内1丁目1番59号	学校教育課	〒840-8570 佐賀市城内1丁目1番59号 0952-25-7227(直)
長崎	長崎県庁第2別館	長崎市江戸町2-13	義務教育課	〒850-8570 長崎市江戸町2番13号 095-894-3373(直)
熊本	熊本県庁本館	熊本市水前寺6丁目18番 1号	義務教育課	〒862-8609 熊本市水前寺6丁目18番1号 096-383-1111(代)
大分	大分県大分総合庁舎	大分市府内町3丁目10番 1号	生涯学習課	〒870-8503 大分市府内町3丁目10番1号 097-506-5526(直)
宮崎	宮崎県庁3号館	宮崎市橘通東1丁目9番 10号	学校政策課	〒880-8502 宮崎市橘通東1丁目9番10号 0985-26-7239(代)
鹿児島	鹿児島県庁行政庁舎	鹿児島市鴨池新町10番 1号	義務教育課	〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号 099-286-2111(代)
沖縄	沖縄県庁舎	那覇市泉崎1丁目2番2号	義務教育課	〒900-8571 那覇市泉崎1丁目2番2号 098-866-2741(直)



様式（ 1 ）

証 明 書

氏 名

年 月 日 生

上記の者は、下記のとおり就学義務の猶予又は免除を受けた者であることを証明します。

記

就学義務猶予	許可年月日	
	事 由	
	期 間	

就学義務免除	許可年月日	
	事 由	

年 月 日

教 育 委 員 会 印

様式（ 2 ）

証 明 書

氏 名

年 月 日 生

在籍する学校名・  
教育施設名及び学年

上記の者は、下記の事由により中学校を卒業できないと見込まれること  
についてやむを得ない事由があると考えられる者であることを証明します。

事 由	
事由の生じた時期	年 月
備 考	

年 月 日

教 育 委 員 会 印

（記入上の注意）備考欄には、この作成につき資料の提供を受けた、あるいは  
状況を聴取した機関の名称と長の氏名を記入すること。